※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　家庭(専)科

教科	家庭(専)	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について学び、地域の保育や子育て支援を担う大人としての実践的な態度を身につけましょう。
・保育にかかわる課題について思考を深めます。
・地域との交流や保育実習など、実践的な学習活動を行います。
・保育技術検定を受検し、確実に技術を習得します。
・周りの生徒と共同しながら主体的に学び、保育にかかわる知識や技術を身につけましょう。

2　学習の到達目標

(1) 保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めたうえで課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1章　子どもの保育	1節　保育の意義 1　保育とは 2　保育の意義 2節　保育の方法 1　保育者の役割 2　一人ひとりに合わせた指導 3節　保育の環境 1　家庭での保育 2　幼児教育・保育の場 3　子どもが育つ環境の変化と課題	a　・保育の意義や重要性、保育者の役割などを理解している。 ・発達の時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。 ・保育環境の特徴や役割を理解している。 b　・保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど保育者観について考察することができる。 ・子どもをとりまく社会環境の変化や保育の課題を踏まえて、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察することができる。 c　・子どもの保育に興味・関心をもち、保育の意義や方法、保育者の役割などについて学ぼうとしている。	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート 観察
	2章　子どもの発達	1節　子どもの発達の特性 1　発達と保育 2　発達の共通性と個別性 2節　子どものからだの発達 1　発育・発達の評価 2　身体的特徴 3　生理的特徴 3節　子どもの心の発達 1　社会・情緒的な発達 2　知的発達 3　言葉の発達	a　・乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。 ・子どもの心の発達の特徴と発達の経過について理解している。 b　・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係の広がりについて考えることができる。 c　・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であることを理解し、様々な側面から子どもの発達をとらえようとしている。	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

		保育技術検定	a ・親や子育て支援に必要となる保育に関する基礎的な知識と技術を身につけている。 b ・状況に合わせて保育技術を実践したり、創造力を働かせ作品に表現したりすることができる。 c ・実践活動に積極的に参加し、保育技術を身につけようとしている。	ワークシート 実技テスト 制作物	ワークシート 発表	ワークシート 発表 観察
2	3章 子どもの生活	1節 子どもの生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 衣生活 2節 生活習慣の形成 1 子どもの生活習慣 2 基本的生活習慣 3 社会的生活習慣 3節 健康管理と事故防止 1 子どもの健康管理 2 事故の防止と応急処置	a ・子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。 ・子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解している。 b ・子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について考察することができる。 ・子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる。 c ・子どもの生活に関心をもち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート 発表	授業プリント ワークシート 観察 発表

※令和４年度以降入学生用

	４章　子どもの文化	1節　子どもの文化の意義と支える場 1　子どもの文化 2　子どもの文化を支える場 2節　子どもの遊びと表現活動 1　遊びと発達 2　遊びと表現活動	a ・遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ・子どもの発達や特性をふまえたうえで、子どもの遊具などの作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。 b ・児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場の役割や、今後の課題について考察することができる。 c ・子どものおもちゃ作りや絵本の読み聞かせなどの実践的な活動に積極的に参加し、子どもの文化への理解を深めようとしている。	授業プリント ワークシート 制作物	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート 観察
	巻頭	子どもとかかわってみよう（保育実習）	b・安全に配慮し、子どもと適切にかかわったり観察したりすることができる。 ・保育実習の記録をまとめ、成果を発表することができる。 c・実習に積極的に参加し、子どものものの見方や感じ方、子どもとの適切な関わり方など、保育への理解を深めようとしている。		レポート 発表	レポート 観察

※令和４年度以降入学生用

3	5章 子どもの福祉	1節 子ども観 1 子ども観の変遷 2 権利の主体としての子どもへ 2節 子どもの福祉 1 児童福祉 2 子どもをとりまく課題と対策 3 子どもが育つ社会環境 3節 子育て支援 1 子育て支援からパートナーシップへ 2 社会的養護 3 地域の子育て支援	a ・子ども観の変遷や権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。 ・児童福祉の理念や法律と制度について理解している。 ・子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解している。 b ・児童福祉の基本的な考え方について理解し、子どもの幸福について自分の意見や考えをまとめることができる。 ・子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えることができる。 c ・子どもの福祉に関心をもち、児童福祉の理念や法律と制度について理解しようとしている。	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート	授業プリント ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度